



お言葉を述べられる名誉総裁高円宮憲仁親王妃久子殿下



来賓として招かれた、左から前原誠司国土交通大臣、鈴木久泰海上保安庁長官、琴陵容世金刀比羅宮宮司

名誉総裁表彰審査委員会委員長の挨拶

水難救助の功績に対し、3団体2個人が表彰されました

平成22年5月21日、海運ビル(千代田区平河町)において「平成22年度名誉総裁表彰式典」を挙行了しました。

名誉総裁である高円宮憲仁親王妃久子殿下ご臨席のもと、来賓として前原誠司国土交通大臣、鈴木久泰海上保安庁長官、琴陵容世金刀比羅宮宮司を招き、式典を盛大かつ厳かに執り行いました。

式典では、表彰状または感謝状が、名誉総裁表彰審査委員会委員長の相原力会長から伝達され、名誉総裁より受賞者に対し、名誉総裁盾(団体)または名誉総裁章(個人)が直接授与されました。



表彰を受ける高知県水難救済会宇佐救難所の上野所長



前原国土交通大臣より祝辞をいただきました



高知県水難救済会宇佐救難所



長崎県五島中央病院



SGホールディングス株式会社



ジュン ペイジ氏

■平成22年度名誉総裁表彰受賞者

項目	団体・個人名	表彰理由
海難救助功勞 (団体)	高知県水難救済会 宇佐救難所	平成21年9月27日、高知県土佐市宇佐沖合で遊漁を終え帰途中の遊漁船「エピソード」から乗船者1名が海中へ転落。海上保安庁から救助要請を受けた救難所員3名は操船者と捜索者との連携のもと、転落位置から数マイル離れた海域で転落者を発見、救助した。
洋上救急功勞 (団体)	長崎県五島中央病院	洋上救急事業の協力医療機関として、これまで31件の洋上救急事案に対して52名の医師・看護師を派遣、巡視船や航空機等に同乗して出動し、傷病者36人に対して医療処置を行った。
事業功勞(金品寄贈) (団体)	SGホールディングス株式会社	日頃から水難救済事業の重要性を深く認識され、青い羽根募金強調期間中には全国の社員が一同に青い羽根を着用して業務に従事するなど、青い羽根募金活動に全社を挙げて取り組み、多年にわたり多額の寄附をされた。
事業功勞(金品寄贈) (個人)	ジュン ペイジ (Mr. Jun Page)	本会の正会員であり、水難救済事業へ多大なご支援をくださっていたペイジ グラハム ジョン氏が、平成21年3月10日にご逝去。ご子息のジュン ペイジ氏は故人のご遺志を汲み、日本水難救済会の発展のためにと本会に多額の寄附をされた。
事業功勞(金品寄贈) (個人)	河崎則子	平成20年11月1日、熊本県の八代海で遊漁中の夫を海難事故で亡くされたことから、水難救済事業の重要性を深く認識。捜索救助活動等に役立てて欲しいとの強い思いから、平成22年3月23日「青い羽根募金」に多額の寄附をされた。